

SENPAI INTERVIEW { 推し活編 }

／ 青森県の暮らしやすさ・働きやすさ ／

センパイインタビュー



Profile



タイム・コマース株式会社
青森オフィス
おた かい
太田 佳泉さん

青森市出身。青森県立青森中央高等学校卒業後、2019年にタイム・コマース株式会社に入社。大手食品トレー会社の受注業務を担当。県内で働きながら、プライベートでは推し活やハンドメイドを楽しむ生活を送っている。

Q1

どんな仕事をしているの？

当社は、顧客企業の製品やサービスの供給を最適化し、効率的に管理するためのコンサルティングを行っています。青森オフィスでは、顧客企業の業務の一部を請け負っており、私は大手食品トレー会社の受注業務を担当し、問屋からの発注データの入力や、欠品時の再手配などを行っています。

Q2

地元就職した理由は？

進学や県外就職など迷った時期もありましたが、できれば地元で就職してほしいという親の希望もあり、高校に届いた求人票の中から、自分の希望条件に近い会社を選びました。家から通勤しやすい立地であり、完全週休2日制で残業もほぼないため、プライベートの時間をしっかり確保しながら働けることが魅力でした。

Q3

プライベートの過ごし方は？

ゲームキャラの推し活とハンドメイドが趣味で、好きなキャラクターのぬいぐるみの衣装やグッズを製作し、公園などで撮影しています。また、共通の趣味を持つ友人とカラオケやDVD観賞のほか、年に数回、手作りのグッズや衣装を身につけ東京や大阪で開催される推しのライブに参加しに行くこともあります。



Q4 推し活をするうえで青森暮らしのメリットは？



青森は首都圏に比べて人混みが少ないので、公園や施設で思う存分、推しのキャラクターの撮影ができます。また、首都圏では入手困難なコンビニコラボ商品やキャラクターくじも、青森では在庫が残っているケースもあります。

Q5 高校生へのメッセージ

社会人になったらこれをやりたいとか、いつか始めようと思っているものがあれば、ぜひ、高校生のうちから始めることをおすすめします。社会に出て1年目の時は心身共に余裕がないかもしれませんが、そんな時に、自分の支えになるものがあると乗り越えられると思うので、ぜひ自分が好きなことを見つけてみてください。

取材してくれた人は？
High School Student Interviewer.



青森県立青森中央高等学校1年
上: 相馬 奏さん
左: 尾形 蓮さん

Data:

自分の時間を充実させたい

『短い通勤時間と労働時間でプライベートの時間を確保!』

働いている人の自宅から勤務先まで
(平日1日あたりの平均往復通勤時間)

青森県 63分

東京都 99分 神奈川県 106分

首都圏と比べて
およそ40分短い!

出典:総務省「令和3年社会生活基本調査」

仕事からの帰宅時間(平日)

青森県 18:01

東京都 19:15 神奈川県 19:00

帰宅時間が早い分
プライベートに
余裕が持てる!

出典:総務省「令和3年社会生活基本調査」